

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成24年12月6日 (2012.12.6)

【公開番号】特開2011-90095(P2011-90095A)  
 【公開日】平成23年5月6日 (2011.5.6)  
 【年通号数】公開・登録公報2011-018  
 【出願番号】特願2009-242393(P2009-242393)  
 【国際特許分類】

G 0 3 G 5/05 (2006.01)

B 0 5 D 1/18 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 G 5/05 1 0 2

B 0 5 D 1/18

【手続補正書】  
 【提出日】平成24年10月19日 (2012.10.19)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

塗布液槽内の揮発性の溶剤を含有する塗布液に、被塗布体を鉛直方向に浸漬させてその外周面に該塗布液を塗布する浸漬塗布方法において、

該塗布液槽の上端部は、該被塗布体が通過可能な開口部を有する部材により覆われており、該部材の該塗布液側の面のうち、少なくとも該塗布液の表面に鉛直方向に対向する部分は、該部材の該開口部から該開口部よりも下方の最外部に向かって傾斜していることを特徴とする浸漬塗布方法。

【請求項 2】

浸漬塗布工程を有する電子写真感光体の製造方法において、該浸漬塗布工程のうち少なくとも 1 つが、請求項 1 に記載の浸漬塗布工程であることを特徴とする電子写真感光体の製造方法。

【請求項 3】

塗布液槽内の揮発性の溶剤を含有する塗布液に、被塗布体を鉛直方向に浸漬させてその外周面に該塗布液を塗布するための浸漬塗布装置において、

該塗布液槽の上端部は、該被塗布体が通過可能な開口部を有する部材により覆われており、該部材の該塗布液側の面のうち、少なくとも該塗布液の表面に鉛直方向に対向する部分は、該部材の該開口部から該開口部よりも下方の最外部に向かって傾斜していることを特徴とする浸漬塗布装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 1 3  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【 0 0 1 3 】

すなわち、本発明は、塗布液槽内の揮発性の溶剤を含有する塗布液に、被塗布体を鉛直方向に浸漬させてその外周面に該塗布液を塗布する浸漬塗布方法において、

該塗布液槽の上端部は、該被塗布体が通過可能な開口部を有する部材により覆われてお

り、該部材の該塗布液側の面のうち、少なくとも該塗布液の表面に鉛直方向に対向する部分は、該部材の該開口部から該開口部よりも下方の最外部に向かつて傾斜していることを特徴とする浸漬塗布方法である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また、本発明は、塗布液槽内の揮発性の溶剤を含有する塗布液に、被塗布体を鉛直方向に浸漬させてその外周面に該塗布液を塗布するための浸漬塗布装置において、

該塗布液槽の上端部は、該被塗布体が通過可能な開口部を有する部材により覆われており、該部材の該塗布液側の面のうち、少なくとも該塗布液の表面に鉛直方向に対向する部分は、該部材の該開口部から該開口部よりも下方の最外部に向かつて傾斜していることを特徴とする浸漬塗布装置である。